

別紙

I．事業評価総括表（平成30年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	湯ヶ岡山田水路改修工事	東伊豆町	4,400,000	4,400,000	4,590,000

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II．事業評価個表（平成30年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	湯ヶ岡山田水路改修工事
交付金事業者名		東伊豆町
交付金事業実施場所	東伊豆町白田	

交付金事業の概要	水路改修工事（自由勾配側溝工L=15.4m、現場打側溝工1基、舗装工A=18㎡、路盤工A=18㎡） 東伊豆町では住民の生活利便性・安全性を図るため、これまで道路改良工事や水路改修工事を実施してきました。特に水力発電所の所在する白田地区の要望を考慮し、電源立地地域対策交付金を活用して事業実施しています。平成27年度から事業実施している湯ヶ岡山田水路は開渠となっており、町道の道路幅員も狭いため、暗渠にすることで通行する車両等の安全性を確保します。また、水路を適切な断面に改修することにより、豪雨時に近隣住民の安全性を確保します。		
交付金事業に関する市町の主要政策・施策とその目標	【主要政策・施策】 第5次東伊豆町総合計画（平成24年度～平成33年度） 第2部 基本構想 第5節 土地利用構想 4 地区別土地利用 （5）白田地区：道路や水路等の整備により、一層の住環境整備促進並びに海岸部と内陸部を円滑に結ぶ道路網の形成を図ります。 第5次東伊豆町総合計画後期基本計画（平成29年度～平成33年度） 第1章 自然と共生する快適なまちづくりの推進 第2節 道路・交通網の整備 生活道路の機能拡充：町道、県道等生活道路については分節、閉塞区間の重点的な整備を進め、狹隘道路の拡幅や歩道設置、バリアフリー化を推進します。 【目標】 白田地区計画水路改修区間（180.5m）のうち、車両等が安心してすれ違い通行できる割合 現状 40.2%（平成30年度） 最終目標 100.0%（平成36年度）		
事業開始年度	平成27年度	事業終了（予定）年度	平成36年度

事業期間の設定理由	完成までに10年間に要するため						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 平成37年度		
	白田地区計画水路改修区間のうち、車両等が安心してすれ違い通行できる割合 100%	改修済み延長÷改修計画延長×100	成果実績				
			目標値	%	100		
			達成度		0.0%		
	評価年度の設定理由						
	改修計画区間の事業完了予定年度の翌年度に実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	本交付金の活用により、平成30年度は水路改修工事（L=17.8m）を実施することができました。これにより、水路改修計画区間（180.5m）のうち実施済区間（L=72.6m）の住環境整備及び通行車両の安全性が確保されました。改修計画未実施区間についても引き続き当該水路の改修を実施し、地域住民の安全性を確保していきます。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	28年度	29年度	30年度
	水路改修延長		活動実績	m	19.8	18.5	17.8
			活動見込	m	19.8	18.5	17.8
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等	28年度	29年度		30年度		備 考	
総事業費	4,644,000	4,566,240		4,590,000		46,000,000（見込）	
交付金充当額	4,400,000	4,400,000		4,400,000			
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	4,400,000	4,400,000		4,400,000			

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
水路改修工事	一般入札	有限会社 中川建設	4,590,000
交付金事業の担当課室	建設課		
交付金事業の評価課室	企画調整課		